

<新連載> のびのび田舎のクラブ紹介

自らの地域に誇りを ～クラブづくりで明るくなった村

仙人の郷スポーツクラブ（秋田県）

1. はじめに

地域概要を紹介します。秋田県の東南端に位置し、東は奥羽山脈を境に岩手県、南は僅かに宮城県、西は横手市増田町と湯沢市、そして北は横手市に接しています。村総面積 203.6 km²のうち山林原野が93%を占めています。

人口は平成20年4月の統計では3,000人とピーク時の48%に落ちこみ、平成21年4月現在2,955人となっています。一方、65歳以上の高齢者人口は1,007人（33.6%）で県平均を大きく上まわり、これに対応した施策も急務となっています。

2. 過疎をプラスに総合型クラブづくりに着手

平成5年から、村の活性化と若者の定住を目指し、ハード面では平成10年度にジュネス栗駒スキー場、ホテル「ブラン」が整備され、平成16年度にはパークゴルフ場4コース36ホール、17年度には管理棟も建築、周辺環境整備事業も完了しました。

さらにソフト面への取り組みを模索し、従来の体育協会、体育指導委員等の活動に加え、地域活性化対策として平成19年～20年度、総合型クラブ育成推進事業による総合型クラブ準備委員会を立ち上げ、平成21年3月18日、仙人の郷スポーツクラブが誕生しました。



村自慢のパークゴルフ場で親睦をはかるクラブ員

3. 創意工夫された啓発活動

村民への総合型クラブの周知が大きな課題となりました。これまでスポーツ活動に受益者負担となる会費を払うことなど村民には皆無に等しかったことです。

そこで、会費をとまなうスポーツ体験教室、体験イベントなどを計画し、地域住民の目的意識など事業を通じて分析を行いました。

さらに集中的にスポーツ月間（16種目）を企画、また住民総参加型イベント「チャレンジデー」により村外、県外にスポーツの情報発信を行うなど村一体となった取り組みがなされ地域力、組織力を高めるなど大きな成果を上げました。



住民総参加型イベント「チャレンジデー」に挑戦、85%の高参加率

4. 特色あるクラブ形態を目指す

当初は旧小学校区4地区を対象にクラブ設立を予定していましたが、過疎化が進み高齢化率の高まり、合併せずに自立による「単独立村」などの村事情を考慮し、「地域のよさ」「地域づくり」を十分意識した村内全域を対象とすることにして着手しました。

5. 会員募集への配慮

クラブ会則では、年会費大人2,000円（高校生以上）子ども1,000円（中学生以下）として会員募集を行ってきましたが、活動には会員以外でも参加出来るようになっています。



青い空、緑の大地を探訪、満喫し「歩け歩け大会」に参加するクラブ員

しかし、教室、集い、交流会等への参加料は、会員と会員以外で区別しており、会員以外の方でも興味を持ち会員意識が高まった時点で入会できるよう配慮されています。普段の活動の場が啓発活動にもなっています。



躍動的な大自然を背に雪に鍛える「スキー教室」でのクラブ員と子どもたち

6. おわりに

現在のクラブ運営は行政主導となっており、今後はクラブマネジャーの養成等クラブスタッフ等の充実により自主運営の道を探るなどの課題がありますが、現在建設中の村民体育館（仮称）の完成後はクラブの拠点施設とすることが予定されています。

8月11日に開催した「NHK夏季巡回ラジオ体操」への村をあげての取り組みは、総合型クラブを通じて地域の心意気を育むべく期待は膨らみます。

（田中忠夫 秋田県クラブ育成アドバイザー）

【仙人の郷スポーツクラブ連絡先】

〒019-0802 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1

東成瀬村教育委員会内

TEL：0182-47-3415 FAX：0182-47-2119

Email：kyouiku@vill.higashinaruse.akita.jp

関連リンク：田中忠夫氏プロフィール紹介（ページ下段）

<http://www.japan-sports.or.jp/local/outline/adviser/5.html>